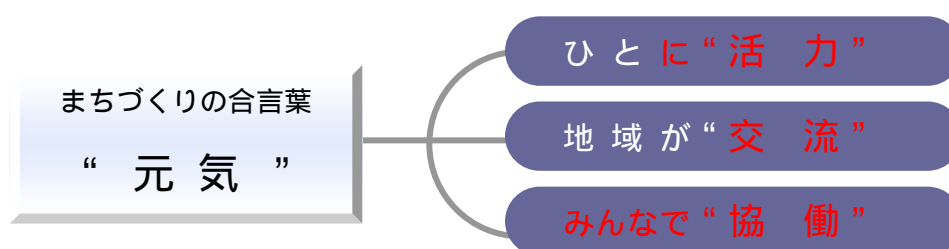


## 第4章 今後のまちづくりに向けたコンセプト

「まち」は、人が集まり、助け合いながら暮らしを営み、歴史を重ねて形作られてきました。

いつの時代においても、まちづくりの主役は「市民」です。本市を取り巻くまちづくりの課題解決に向け、市全体が一丸となってまちづくりを進めます。そこで、「ひとに活力」があり、「地域が交流」し、そして「みんなで協働」して、誰もが住みたい、住み続けたいと思う“元気”あるまちを目指すことをコンセプトとし、そのための合言葉を“元気”とします。



### 1 ひとに“活力”

本市のまちづくりを支える源は、市民一人ひとりの“活力”です。まちの課題を乗り越えるためには、市民がまちづくりの主役となって、まちの課題を共有し、まちづくりに参画していくことが必要です。みんなが“元気”に笑顔で“活力”ある生活を送ることができるまちづくりを進めます。

### 2 地域が“交流”

高齢者や子ども、障害のある人などあらゆる市民が集まり、交流することにより一つの共同体としてそれぞれの地域で抱えている問題に取り組むことが、地域の“元気”につながります。地域の活動やコミュニティを尊重し、地域が、また地域間で自由に、自主的に“交流”できるまちづくりを進めます。

### 3 みんなで“協働”

市民一人ひとりの活力と地域での交流とが相乗効果を生み、“元気”あるまちへと成長します。また、市民や地域の課題に対しては市全体で共有し、助け合うことが必要です。市民や地域が“協働”して、行政と手を取り合いながら、まち全体が“元気”になるまちづくりを進めます。